

# 春山登山について

2011.5.15

5/10 付けの信濃毎日新聞によると大型連休中（4/29～5/8）に長野県内山岳で発生した遭難は 21 件、死者 8 名、行方不明者は 2 名で件数、死者数は過去 20 年間で 1992 年の 22 件、10 人について多かったとの事。テレビや新聞の報道で見た悲惨な事故は、4/29 に白馬岳大雪渓での雪崩で 3 名が死亡。鹿島槍ヶ岳で落雷で 1 名死亡。常念岳や槍ヶ岳、蝶ヶ岳での低体温症による 3 名の凍死。などですが、4/30～5/1 は激しいみぞれや風速 20M 以上の風が吹く悪天候であった。白馬大雪渓の雪崩も 16:00 頃。何でそんな時間にそんな場所に？と最初に疑問に思ったが悪天候でホワイトアウトになり道間違いで引き返す途中のようだ。涸沢では 4 月下旬に 120CM もの新雪が降ったと言う。表層雪崩の危険は十分予測できたろうに。春山はやらない（やれない）私ですが「天気が悪いのに何故登るのか？」「自殺行為では？」理解できない。衣類に染み込む雨水のほうが雪より体を急に冷やすと言う。強風もご存じのように風速 1M 毎に 1 度 C 体感温度が下がる。風速 20M だと 20 度 C 低くなる。トムラウシのツアー遭難死は真夏の出来事だった。連休中、燕岳の中房温泉、常念岳の一の沢登山口の駐車場はいずれも満車状況だった。「山は何処へも行かない」と言われる。天候の良い時に登山したいものだ。特に雪山は。

残雪期登山



ヤブコギせずに残雪期登山



話は変わりますが雪山登山しない者でもこの時期雪山に挑戦せざるを得ない登山者がいます。日本 200 名山を目指す人達は笈ヶ岳（1841M、石川、岐阜、富山 3 県にまたがる秘峰）。300 名山を目指す人達はプラス 猿ヶ馬場山（1875 M、岐阜県）、野伏ヶ岳（1674M、福井、岐阜県）。これらの山は夏道がないので残雪期に挑戦せざるをえないからだ。登山口までの道が開く 4 月中旬～5 月上旬の 20 日間位が登山シーズンとなる。

堂津岳登山



雨飾山



私も信州 100 名山で同じ理由から堂津岳で経験した。(昨年 5/2) 私の知人で 300 名山に挑戦中の Nさんは今年 5/9 に猿ヶ馬場山に、Uさんは 4/30 に猿ヶ馬場山、5/9 に男鹿岳 (300 名山、1777M、栃木、福島県にまたがるヤブコギ山で残雪期に登山する人が多いようです) に登山した。二人の話を総合すると雪上にほとんど目印、テープなどが無いとの事。天気の良い日が条件のようだ。天気の良い日は登山者 (同好者) が必ずいるようだ。登山時期が限定されるからだ。春山登山をするベテラン連中に比べてほとんど遭難事故が無いのも不思議な位だ。天候を登山条件にしているせいかな?。私は堂津岳ではGPSを念のために持参した。ポイントを何か所かセットして。快晴でまったく不必要であったが、山頂がはっきりせず、特定するのに使った。